

# 取り扱い説明書

## ミルク保冷庫／RPM-140

### 製品概略仕様

製品名	ミルク保冷庫
型名	RPM-140
電気用品の区分	電子冷蔵庫
冷却方式	直冷式（電子冷却素子）
放熱・排気方式	強制空冷式
断熱材	発泡ウレタン
本体外装	SUS430（2B）
定格電圧	AC100V 単相
定格周波数	50Hz／60Hz
定格消費電力	60W／60W
定格電流値	1.0A／1.0A
有効内容積	4L
冷却対象	1L牛乳パック×2本仕様
外形寸法	W140×H371×D311
製品重量	6.5kg
コード長さ	2.5m

## RPM-140 / 各部説明 (1)

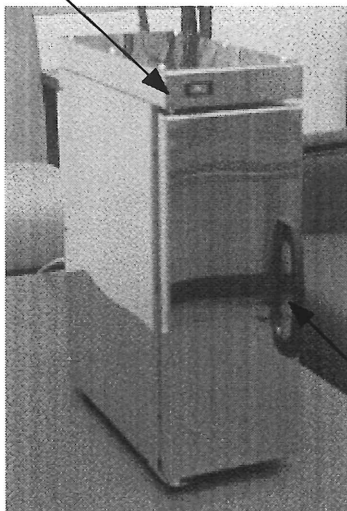
### スイッチ/通電表示ランプ

スイッチを右に倒すと通電を表示する『緑』ランプが点灯します。

ファンが回転を始めて排気を開始し、ペルチェ素子への通電を開始します。

庫内が冷えきるまでには時間がかかります。

通電開始から1時間ほど経過してから、内部にミルクパックを入れるようにして下さい。



設置は安定した場所に行なって下さい。

⊙ 水で濡れるような場所には設置をしないで下さい。

電源はAC100Vのみです。必ず接地(アース)をして下さい。

### ドア把手

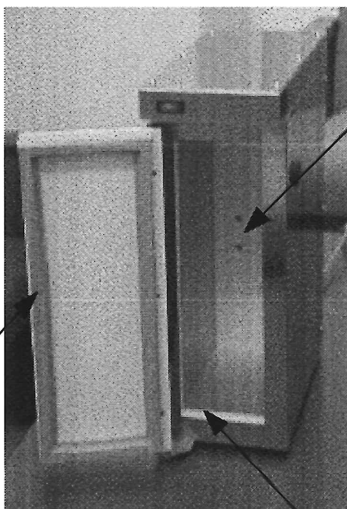
⊙ ドアには荷重をかけたりしないで下さい。

⊙ 把手をつかんで本体を移動させないで下さい。

### ドアパッキン

マグネットで本体に密着します。

カビの発生を防ぐため使用後には結露した水を拭き取ってきれいにして下さい。



### ペルチェ素子取り付け位置

この部分が最も冷たくなります。

⊙ 4点のネジは絶対に緩めないようにして下さい。

庫内アルミ容器は冷えるので結露します。

使用後には庫内に付着した結露水を、乾いた布などで拭き取って、きれいにおいて下さい。

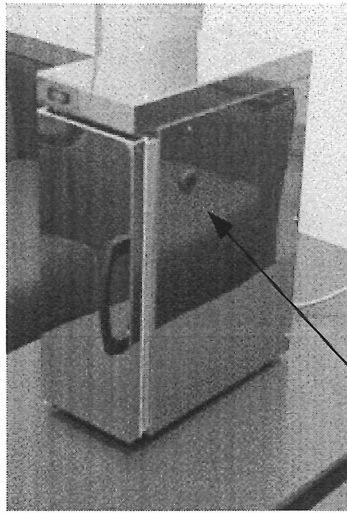
### 庫内アルミ容器

温度制御方式について

庫内温度を5℃以下に保つようにペルチェ素子への印加電圧を0～11Vの間で変化させる比例制御(PWM)を行なっています。

周囲の温度が30℃を超えたり、『壁ピタ』設置により、いじわるな環境で動作した場合には、庫内温度は5℃以上に上昇することがあります。

周囲温度が5℃以下になるような時には出力は停止するので、冷却動作は行ないません。



⊙ 製品の天井面に水の入ったコップなど、液体のこぼれる可能性のある容器を置かないようにして下さい。

⊙ 製品に水をかけて洗うことはできません。特に背面の放熱排気口に、水がかからないようにして下さい。

製品右側面

右側面はコーヒーマシンに『壁ピタ』となっても結構です。

この時左側面の側は、他の機器との間隔を、少なくとも10cm以上あけて下さい。

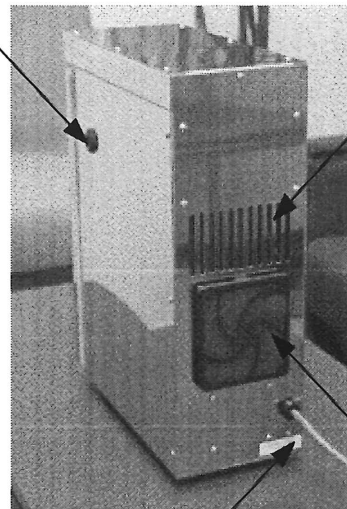
ミルクチューブ引き出し穴

過昇温防止機能について

ファンの故障や、フィルターの目詰まりなどにより、放熱側が高温(65℃)になった場合には、保護機能が働いて、自動的に通電を停止します。

この時には通電ランプは点灯していますが、冷えなくなります。

解除するには、温度暴走した原因を取り除いてから、電源コードを抜き、数分待ってから再度電源を入れて下さい。



放熱風排気口

⊙ 排気を妨げないようにして下さい。

⊙ 製品背面を『壁ピタ』設置にしないで下さい。壁からの距離は少なくとも10cm以上の間隔をあけて下さい。

フィルター

1ヶ月に1回フィルターを取りはずし、洗浄して下さい。フィルターが目詰まりしていると、冷却できなくなります。

(プラグ先端はアースピン付きの3ピン) 電源コード